智 能 啓 發

～たくましく　ひたむきに～

平成３１年３月１３日
由利本荘市立西目小学校
学校報　　第５１号
発　行：　校　長

６年生を送る会のその後に…

　全校児童のアーチで６年生を送り出した後，５年生の列から庄司恋さんが前に出てきて，「６年生を送る会を成功させることができました。１年生から４年生の皆さんが協力してくれたお陰です。ありがとうございました。来年は私たちが６年生になり，全校を引っ張っていくのでついてきてください。」と大きな声で挨拶をしてくれました。そして５年生全員が下級生に頭を下げてくれました。（下の写真）５年生が，とても立派になったと感じた瞬間でした。

　５年生は，この会を成功させるために，各担当に分かれて準備をしてきたのです。自分たちの出し物の他に，テーマ看板作り，会場の飾り付けやプログラム作成，司会進行，インタビューゲームの準備，歌と振り付けの指導など，本当によく頑張ってきました。頑張ってきて６年生に喜んでもらったと感じたから，本当に嬉しかったのだと思います。だから，協力してくれてありがとうと素直に下級生に感謝できたのだと思います。

　この挨拶を受けて，４年生全員がスッと立ち，佐藤柑太朗さんが代表して５年生に向かってお礼の言葉を述べました。５年生が６年生を見上げているように，４年生もまた５年生の姿を見つめていました。

＊最後のなかよし給食＊（３／１）

　６年生を送る会を終えたその日，最後のなかよし給食が設定されていました。４・５年生が給食の準備をして６年生を迎えました。大きな会を終えた後なので，みんなくつろぎ，和やかな雰囲気でした。これでごちそうさまかと思ったら，それぞれの教室で，準備していたお礼のカードを６年生へプレゼントしたり，６年生からはグループのみんなにメッセージカードを贈ったりと，どの班も手作りのプレゼントを交換していました。いつの間にかちゃんと準備している子どもたち。一年間のつながりを感じた瞬間でした。お互いを大事に思っている子どもたちです。

登校班について

今年は２月の半ばから春らしい気候になり，歩いて登校する子どもたちが増えてよかったと思っております。先日８日に開かれた子ども会では，新しい登校班のメンバーも確認され，４月からの登校に備えているところです。登校班の班長・副班長には，下級生と一緒に一年間歩いてきてもらい，本当に頼もしく思います。

しかし，町内の班の中には，春になって歩き出したら，以下のような状態で困っているという班が出てきました。

①時間を守らず，集合場所に集まらない。
②集まっても，ちゃんと列になって歩いて行かない。
③長い列になり，登校班の意味をなさない状態で歩いている。

保護者や地域の方からご指摘があった班には，学校で指導をしております。もし，まだ思わしくない歩き方をしている班がありましたら指導しますのでお知らせください。

３月１４日をもって６年生は卒業し，１５日からは，６年生のいない状態で登校することになります。新しい班長や副班長が頑張ると思いますが，慣れないことと思いますので，ご家庭の皆様の励ましや声かけ等，よろしくお願いいたします。

体育館側道路の通行規制について

１２月の臨時校外指導部会で協議し，子どもの安全のために体育館側道路を登校時に限り，保護者の送迎車両を一方通行にしていただきました。このお陰で，子どもたちの安全度がかなり高くなりました。車と接触しそうなケースが格段に減り，危険だという声を聞かなくなりました。本当によかったと思っております。

ランチルームの屋根の形状が特殊で，子どもたちが歩く通路に落雪する箇所があるため，冬期間はランチルーム側の通路を通ることができないことによる措置でした。保護者の皆様のご協力に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

１年生の教室で寸劇を披露して活躍しました。

ありがとうレンジャー出動！！

ＪＲＣ委員会では，落とし物が多い３学期，少しでもゼロに近づけたいと，新たなヒーローを出現させました。それが，「ありがとうレンジャー」です。

赤 責任レンジャー；名前を書いて責任をもつ
青 まごころレンジャー；人の物でも真心をこめて届ける
黄 整とんレンジャー；整理整頓をする

このヒーローたちがランチルームや１年生の教室に現れ，子どもたちに意識付けを図っています。そのせいか，少しだけ落とし物が減っています。落とし物を拾ってくれた人には感謝状を贈呈しています。大人が拾うのではなく，子ども同士で気をつけていくために頑張っています。よい取り組みです。

寸劇でアピール！

＊＊スポ少等の活躍＊＊ おめでとうございます！

○平成３０年度
新発田ジュニア
オープン卓球大会
（小学３年生以下
男子）
第３位　内田　翼

← 新潟の大会で頑張ってきました。

↑３／３小島かはたれ子ども
俳句コンクール表彰式にて（校報Ｎｏ．４８号に掲載）